

用者2人に対し介護職員1人以上に引き上げること
は、介護全体の費用を増大させ、その結果、介護保険料が上がり被保険者の負担増にもなりかねないことから、賛同できない。

審査結果 不採択

◆請願第34号「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書」

意見 看護師などの夜勤労働をする方の待遇、労働環境や労働条件の改善などは大変重要な問題であるが、この請願にある要件を実現しようとすれば、人件費により病院経営を圧迫し、ひいては診療報酬を上昇させ、国民の大きな負担になりかねない。

審査結果 不採択

産業建設委員会

委員長 福積 章男

◆竹林再生・利用促進緊急支援事業費補助金について
乾燥タケノコの出荷単価について。

答 乾燥タケノコの単価設定は、当初1キロ3、

000円であったと伺っている。しかし、燃料代や作業等にかかるコストが高いことなどから、引き続き交渉された結果、1キロ3、500円に見直されたということである。

問 目標とする生産量は確保できるのか。

答 目標生産量を確保するため、森林組合においても加工・生産することについて受入れられる予定である。生タケノコの買取価格は、皮をむいた状態で1キロ50円、皮をむき、規格に合ったサイズにカットした状態で1キロ70円とされている。

このことにより、目標とする生産量を確保できるのではないかと考えている。

問 今後、さらなる竹林の整備や竹を活用した新たな産業についても検討していくべきではないか。

答 竹林整備については、放置竹林の整備や森林の多面的機能発揮対策等で整備を進めているところである。

また、竹を活用した新たな産業については、平成28

年の早い段階で、この事業の取り組みなどに対する協議会を立ち上げる予定としており、この協議会において、今後の竹の利活用などについて、協議・検討したいと考えている。

◆請願第29号「TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求めることについて」

意見1 政府は、TPP関連政策大綱を打ち出し、農業等に支援を行うとしていながら、この支援対策は、協定により損失が出るということとを前提にしたものであり、問題であると考えられる。

また、合意内容を明らかにしていない点や、農業に大きな被害を出す可能性があることから、本請願は採択すべきである。

意見2 大筋合意に結びついた国家間の約束を、民主主義と相容れない合意として撤回を求めることが国益にかなうことであるのかは、非常に疑問を感じるどころである。今なすべきことは、詳細な説明を受け、農業を含む国内産業の活性化につながる方策について国民の英知を集めることだと考えられるので、本請願は不採択とすべきである。

意見3 TPP協定が調

印・批准されたら、大洲市の農業のすべてに悪影響を与えるのか疑問である。農業を初めとし、様々な産業は、競争のある中でいい物ができるかと考えられ、今後は、そうした政策を進めていくべきであることから、本請願は、不採択とすべきである。

審査結果 不採択

◆請願第30号「政府による米価下落対策を求めることについて」

意見1 現在、全国の米生産費は60キロあたり約1万5,000円超えとなっており、買取り価格が2万円

常任委員会管内視察



▼総務企画委員会
長浜支所管内の概要
(長浜支所)



▼厚生文教委員会
岩谷分館移設予定地
(肱川町山鳥坂)



▼産業建設委員会
指定管理者の状況
(風の博物館・歌麿館)